

中学・高校生～

2019年12月 no.73

2019

よんでネット* 冬号

発行口茅ヶ崎市立図書館／協力口茅ヶ崎図書館子どもの本の会



岩波書店
【36シ】

「10代からの情報キャッチボール入門」 -使えるメディア・リテラシー-

下村 健一

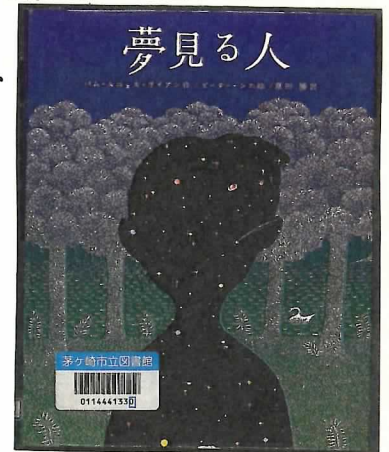
キャッチボールでボールを受け損ね、体に当たったら痛い。ネットの情報も同じ。情報の受け方を間違えるとバグが痛い。情報の届け方受け方には、キャッチボールと同じで練習が必要だ。

練習問題その1「今年の12月に人類滅亡だって！」と君のLINEに友だちからメッセージが届いた。ネット検索したら《みんな》話題にしている。さあ、どうする？

「夢見ろ人」

パム・ムニョス・ライアン 作
ピーター・シス 絵
原田 勝 訳

南米のチリに暮らす少年 ネフタリは、ひよわだが、並外れた想像力の持ち主。父親から将来は医者にと望まれ、空想などやめて強くなれと怒られるが、じいじはいつも夢見ろことをやめられない。ある日、ネフタリは、自分が詩や文を書きためたノートを父親が燃やすのを目撃し…。ノーベル文学賞を受賞した詩人パブロ・ネレーダの少年時代を描いた物語。



岩波書店
【963ラ】

「がっかり行進曲」 中島 たい子

小学校の時から、運動会、遠足、大切な日に限って
ぜんそくの発作を起こす私。おかげで学校にもちょっと
馴染めない。勉強も運動も不得意。けれどすごい「出
会い」があった！6年の時、音楽の先生が合唱祭のた
めに選んだ1曲“Let it be”。歌詞に胸が熱くなった。
中学生になった私はその曲を生で聴くために、コンサ
ートに行くことを計画するが…。



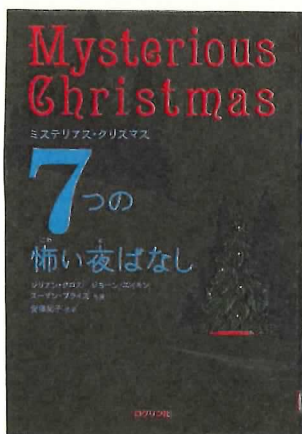
ちくまプリマー新書
(913ナ) YA

「ミステリアス・クリスマス 7つの怖い夜ばなし」

ジリアン・クロス ジョン・エイキン
スーザン・プライス 他著

安藤 紀子 他訳

ピカピカ光るクリスマス・ツリー。
プレゼントを贈りあう家族の笑顔。そんな
幸せのひと時に「ゴースト・ストーリー」を
楽しむのがイギリスの古い習慣だとか。
この7つのお話は、どれも読んでいる
時より、読んだ後に怖くなる。不思議な世
界に迷い込んだ後に待っているのは
あなたの想像を超える結末。夏とはまた違った
恐怖の世界へようこそ。

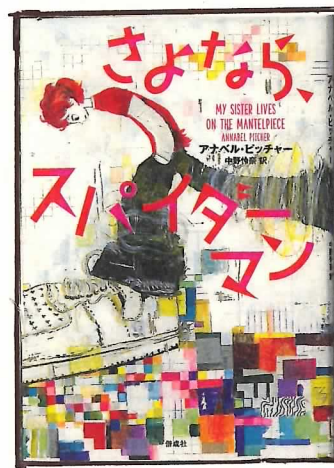


ロクリン社
(9337)

「さよならスパイダーマン」

アナベル・ピッチャー
中野 怜奈 訳

姉さんのローズがテロの犠牲に
なって以来、父さんは酒におぼれ、
母さんは家を出て行ってしまった。
10歳になったジェイミーは、家族と
ともにロンドンから田舎に引っ越して
くる。母さんから贈られたスパイダ
ーマンのTシャツを心の支えに、いじめに
耐えていたジェイミー。皮膚を救ってくれ
たのは、父さんが忌みきらうイスラム教徒
の少女、スーニャだった。



偕成社
(933E)